



平成30年10月16日
中部地方整備局

平成30年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議を開催しました — 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第2回定例会議では、発注工事等の中から抽出した4件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成30年9月20日（木）14時00分～16時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

経理調達課長 四方 圭 電話 052-209-6316(ダイヤル)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成30年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成30年9月20日(木) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 林 秀弥 (大学院教授) 中村 友昭 (大学院准教授) 加島 光 (弁護士)		
審議対象期間	平成30年4月1日～平成30年6月30日		
抽出案件数	総件数 4 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙1-2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成30年4月1日～平成30年6月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成30年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1工区堤防(改良)本体工事	港湾土木工事	7	6	4月25日	高砂建設(株)	274,320	91.32	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成30年4月1日～平成30年6月30日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成30年度 下田港防波堤(西)D区水理模型実験	建設コンサルタント等	1	1	6月11日	玉野総合コンサルタント(株)	10,044	87.9	

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成30年4月1日～平成30年6月30日

業 務 名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成30年度 三河港環境影響予測検討業務	建設コンサルタント等	1	1	4月9日	平成30年度三河港環境影響予測検討業務 全水技協・海洋生物設計共同体	64,260	99.5	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成30年4月1日～平成30年6月30日

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成30年度 衣浦港港湾業務艇用船	役務の提供等	2	2	4月2日	(株) マリンセキュリティー	2,592	23.4	単価後納契約

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成30年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1工区堤防(改良)本体工事	落札者の評価値が他者と比較して一番低かった。一方で入札額が安かったのはどのような理由が考えられるのか。	評価の基準については公表されており、自己採点が可能である。あらかじめ、自者の評価値が低いことを想定することができるため、受注するためには、調査基準価格に近い額で入札する必要があると判断したためと考えられる。
	調査基準価格はどのように算出するのか。	直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費の額にそれぞれ決められた率を乗じて得た額を積み上げて算出している。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成30年度 下田港防波堤(西)D区水理模型実験	1者応札であったことに対してどのように分析しているのか。	水理模型実験の発注件数が少ない中で、限られた技術者を拘束してまで本件に参加するメリットが少ないと判断したのではないかと考えられる。
	今後、どのような改善策が考えられるのか。	入札公告等をより広く周知する手立てを考えたい。
	本件は適正に処理された。	

3. 簡易公募型プロポーザル方式(建設コンサルタント業務等)

平成30年度 三河港環境影響予測検討業務	1者応札であったことに対してどのように分析しているのか。	年間を通じての現地調査、数値シミュレーション、その結果を踏まえた検討を行う業務であるため、業務を遂行するために必要となる人員体制の確保が困難であったことが一つの原因と考えられる。
	今後、どのような改善策が考えられるのか。	公告期間を長めに設定する等により、入札公告等をより広く周知することが考えられる。
	過去の類似業務の受注者はどこか。また、過去の類似業務の報告書は公開されているのか。	(一社)全国水産技術者協会を含むJVが受注している。報告書は公開しており、過去の受注者でなくても本案件に参加することができる。
	(一社)全国水産技術者協会とはどのような協会なのか。この協会以外に本業務を遂行することが出来ないのか。	水産に関する調査、試験研究等に従事した経験を有する技術者が集まった団体である。過去、本協会以外の者が参加表明していることもあり、この協会しか本業務を遂行できないわけではない。
本件は適正に処理された。		

4. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成30年度 衣浦港港湾業務艇用船	供用1日あたりの入札額は妥当なのか。	契約の内容に適合した履行がなされるかどうか判断するため、追加資料の提出を求め、面接によるヒアリングを実施した。当該価格で入札した理由、当該契約の履行体制、経営内容等を確認し、契約の内容に適合した履行がなされると総合的に判断した。
	当該入札価格が、業務に必要な費用を割り込んだ価格であるかどうかについてチェックしているのか。	必要となる費用を割り込んだ価格かどうかについては、企業がどのように人員・船舶を配置するのか等に応じて異なるため、一概に数字として示すことは難しい。契約の内容に適合した履行がなされるかどうかという観点での調査を実施し、総合的に問題ないと判断した。
	本件は適正に処理された。	

5. その他

なし	
----	--